

「FX意識改革ブログ」

Presents

～FXで大損をしないために最初に知って欲しいこと～

FXデイトレード

知識ゼロからの最短上達方法



著者

千草 明

<http://blog.homing-fx.com>

— プロローグ —

はじめまして、FXトレーダーの千草と申します。

トレードプランとトレードに勝つためのテクニックやメンタルをまとめている「FX意識改革ブログ」(<http://blog.homing-fx.com>)を2年間運営しています。

私がこのレポートで書きたいことは、FXの知識ゼロから、利益を上げられるようになるまでの最短方法についてです。FXで勝つためには、多くの罠があり、道に迷うことが多々あります。そして道に迷ってしまうと時間もお金も膨大に失うこととなります。

FXで利益を上げるにはどうすればいいか？ 2年間のブログ運営でいろいろな方の質問に答えて培った経験から「こうやれば資金も減らさずに短時間で効率よく学習できるのではないだろうか？」といった方法を提案したいと思います。

FX教材というと「楽しんで勝てる」とか「短時間で大もうけできる」といったセールストークのものが大多数ですが、私は真剣にやっていますから、すべて本音で書いていきます。

これからFXをはじめようと考えている方に、ぜひ意識して頂きたいのが、**「誰もがいきなりFXで勝てるわけがない」**という当たり前のことです。

トレードが上達するというのは、英語が話せるようになるとか、楽器が弾けるようになるとか、サッカーが上手くなるのと同じことです。サッカーをやったことない人が、いきなりプロの試合に出て活躍できますか？ もちろんできるわけがありませんよね。

FXも同じことです。ただし、一朝一夕で上手くはなれないですが、経験が蓄積すれば、必ず上達すると思っています。まずは、自分のトレード力を向上するため、素振りから始めてみてください。デモトレードやテスター等を使ってトレードの経験を積むというのが、素振りになります。それを経てから実戦トレードにチャレンジしてみてください。

なお、本書は半年程度で基礎を身につけられると仮定して、どんなスキルをどうやって積み重ねていくべきかを書きました。FXを始める方はぜひご参考にして頂けたら幸いです。

著者 千草明

FX開始 1ヶ月目にやること

「基礎知識を蓄え、デモトレード口座を開設する」

■最初にあなたの目的は何かを明確に定める

あなたが「FXをやろう」と決意しました。まずは、FXで何をどうしたいか？について明確に意識する必要があります。

- ・長期投資をしてスワップを受け取りたい
- ・サラリーマンだから、副業として10万ほどの利益を出したい
- ・頻繁に売買をして、専業トレーダーとなり、月数百万単位の利益を上げたい

など、人それぞれに動機があると思います。

さて、本書は「デイトレーダー」になるための最短距離を書いたものなので、貯蓄に近い考えのスワップ投資については語りません。

おそらく多くの人は、10万~100万くらいの少ない元手で、利益を積み重ねていきたいと考えている方々だと思います。このように頻繁に売買を繰り返して利益を上げるトレーダーになるという考えを踏まえて、書き進めていこうと思います。

■本を読んで知識を蓄える

あなたがFXの知識ゼロの場合は、まず書店で本を読んでください。ただ、書店の本は初心者から上級者用までいろいろあります。

ここで読むべき本は、FXとはどんなものか？ どういうふうにやるのか？ 取引形態の仕組みはどういうものか？ 業者をどういうふうに選ぶのか？ チャートの見方などはどのように行うか？

といった基礎本になります。この段階では、FXの仕組みを知ることだけにとどめてください。間違っても「～が教えるFX必勝法」といったバイアスのかかった本は読まないようにします。ただ、単純にFXの仕組みがどういうものなのかを知るために読みます。

具体的にどの本がいいかといえば

「はじめての人の FX 基礎知識&儲けのルール」 すばる舎
「私のFXバイブル」 ダイヤモンド社

のどちらかを読むといいと思います。「私のFXバイブル」のほうはやや実践的内容です。これでFXというのがどんなものかザックリとわかります。

■ファンダメンタルについては軽く概要をつかむだけにする

本を読んで知ってほしいのは、FXの基本的な取引の仕方です。業者の形態とか、2way プライスとか、スプレッドとか、ロングとかショートのやり方などについてです。それとテクニカルの基本知識などです。

そのほか経済指標や通貨の傾向について書いていますが、それは概要を抑えておくだけで、決して深く踏み込むことがないようにサラリと流してください。

というのも、投資においては各国の経済状況の把握、すなわちファンダメンタル分析が大事だといいますが、デイトレードにおいては、経済動向の把握は、あまり重要ではないからです。ファンダメンタルが必要なのは長期投資においてのみです。数分後やその日に決済するデイトレやスキャルピングをするのであれば、ファンダメンタル分析はいりません。

じゃあデイトレードにおいて、何が必要なのかといえば、

「チャートの把握力」と「リスク管理方法」だけが必要になります。

しかしながら、マスコミや大手の証券会社は日々経済動向についてのニュースを大々的に流しています。それが彼らの「商売」だからです。彼らはすべて起こった出来事に後付で説明を加えて報じているにすぎません。

たとえば、いきなりドル円が急激に1円ほど下落したとします。彼らは下げた理由をいろいろなソースから探してきます。そして誰々が公演でドルは危ないと発言したことを知ります。すると彼らは「・・・の発言の影響でドルが売られた」とさもそのせいで下落したのだというような説明をします。裏が何も取れていないのに、推測で大々的に報道するので。

ですが、実際は「何が影響して売られたのか？ また買われたのか？」は正確にはわかりません。トレードしている人全員に「なぜ売ったんですか？」と聞いて統計を取らない限りはわからないのです。

というように業者が流すファンダメンタルのニュースというのは、結構デタラメです。初心者は業者のニュースを真に受けて売買を決めますが、流している元が憶測で判断しているのですから、それを参考にしているのは負けて当然なのです。また、そうしたニュースは全投資家がすでに知りえている内容です。インサイダー情報のようなニュースなら有利になりますが、そうでなければ既知の情報はあまり意味がありません。

ですからデイトレードをやるのであれば、ニュース情報についてはサラリと流すくらいにしておくのがいいのです。

■デモトレード口座を開設する

さて、FXの仕組みはなんとなくわかったでしょうか？

次にあなたは「さっそくやってみよう！」「やっているうちにわかるはずだ」と考えるかもしれない。思い立ったが吉日と、FX口座をいきなり開設してしまう人が大勢いると思いますが、ちょっと待ってください！

あなたは、まだトレードで勝てる知識・経験・テクニックが何も身につけていない状態で、それでいきなりトレードをして利益を上げようなんて、無謀にもほどがあると思いませんか？

まずはちゃんと知識や練習を積んでからFXをなさってください。それをやらないと、必ず洒落にならないほど莫大な授業料を払うことになるからです。

あなたが開設するべきは、実際にお金を入れてトレードする口座ではありません。

デモトレード口座です。

デモトレードというのは、FX業者によって用意されており、その業者のシステムを使いながらトレードが行えるものです。

検索してみると多数の業者がデモトレードを提供しています。私が調べた限り 2010 年 11 月現在で以下の業者がデモトレードを用意しています。

※2010 年

デモ取引のある FX 会社	ホームページアドレス
DMM 証券	http://fx.dmm.com
F X C M ジャパン	http://www.fxcm.co.jp
F X T S	http://www.fxsys.com
IG マーケッツ証券	http://www.fxonline.co.jp
F X プライム	http://www.fxprime.com
G F T 東京支店	http://www.gftforex.co.jp
J F X	http://www.jfx.co.jp
上田ハロー	http://www.uedaharlowfx.jp
外為オンライン	http://www.gaitameonline.com
サイバーエージェント FX	http://www.cyberagentfx.jp
スター為替	http://www.starkawase.jp
セントラル短資 FX	http://www.central-tanshifx.com
クリック証券	https://www.click-sec.com
ひまわり証券	http://sec.himawari-group.co.jp
ヒロセ通商	http://hirose-fx.co.jp
フォレックスドットコム	http://jp.forex.com/jp
マネースクウェアジャパン	http://www.m2j.co.jp
DMM 証券	http://fx.dmm.com

上でオススメの業者はどこかといえば、ツール重視なら、クリック証券、F X プライム、GFT 東京支店など。ただどの業者も昨今はツールは充実していますから、大差はありません。くりっく 365 を使いたいなら、スター為替。MT4（メタトレーダー4）を使いたいなら、フォレックスドットコムやサイバーエージェントなどがいいと思います。

MT4 というのは有名なトレードチャートソフトで、無料で使うことができます。これでチャートを見て、注文はデモトレードで行えばトレードのコツはつかめます。MT4 は非常に汎用性が高いので知っておいて損はありません。

ちなみにMT4 はフォレックスでなくても以下で無料でDLができます。

<http://www.metatrader4.com>

また、MT4を解説してあるサイトなどは複数あります。

簡単な操作方法などについてはMT4の対応業者のホームページを参考にするのが一番いいでしょう。

「メタトレーダー 業者」などで検索して、対応業者のHPにいけば、メタトレーダーの使い方を動画などで詳しく解説しています。

以下サイトなどがわかりやすいと思います。

FXトレードフィナンシャル

http://www.fxtrade.co.jp/system/mt4_winclient.html

セブンインベスターズ

<http://www.7fx.jp/mt4/manual.html>

フォレックスドットコム

http://jp.forex.com/jp/learn/mt4_self_auto_trading.shtml

なお、デモトレードは各社試用期間が授けられている場合がありますが。期間が切れても別のメールアドレスで作って登録すれば何回でも試すことができます。また、MT4自体でデモトレードを行うこともできます。

■デモトレードでやるべきこと

さて、デモトレードの用意はできたでしょうか？

現状のあなたはトレードを始めたばかりのデイトレーダーレベル1の状態です。レベルアップするには経験を積まなければなりません。

そのためには、なによりもまずチャートの観察経験を積むことが大切です。

この段階では、あなたは適当にトレードしていただいてかまいません。適当にロングやショートをしてみてください。きっと負け続けますが、まずはそれでいいのです。

きっと「うわー、リアルでトレードしなくてよかった」とFXで勝つのが難しいことが、しみじみわかるはずです。それだけであなたはすでに数十万、数百万以上節約ができています。いや、大げさでもなんでもなく本当の話です。デモをやることは、急がば回れで、トレードにかかる授業料を少なくするのに最善の方法です。

デモトレードであなたがやるべきことはひとつです。

ただ、ひたすらチャートを観察し続けてください。

この観察経験を積むことが、勝つためににおいて一番必要なことです。
この経験がない人は、絶対にデイトレードで勝つことはできません。

まずは、ポピュラーなドル円を見るのがいいでしょう。

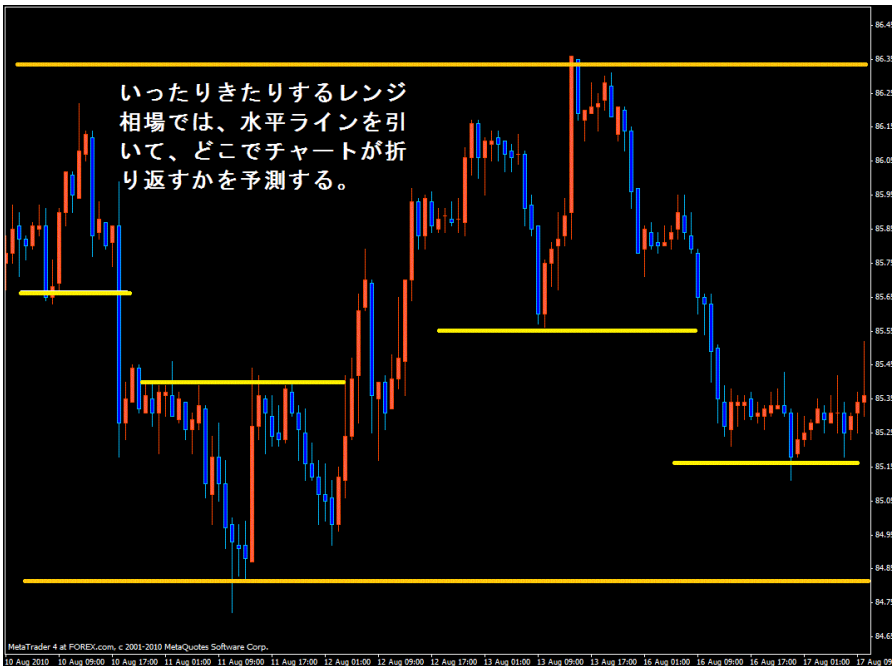
1日足、1時間足、5分足の3つを同時に表示して、
それぞれがどのように動くのかを観察してください。

このときは、ロウソク足チャート、それに加えてトレンドラインと水平線の引き方を学んでください。

■トレンドライン



■ 水平線



この段階ではチャートの動きをよく見てください。トレンドラインや水平線を引きながら、まずは、どういう風にチャートが動くのか、それを知るべきです。ラインの引き方に正解はありませんが、「世界中の誰もがこのラインを引くだろうな」ということに気をつけて引いていただければ大丈夫です。やっているうちに必ず自分の引き方を身に着けることができるはずです。

■ 通貨選択について

FXではいろいろな通貨でトレードができますが、デモトレードでやる場合、通貨は、ドル円やユーロドルなどの**ストレート通貨**がよいです。この2つは業者の看板通貨であるためスプレッドが狭くやりやすいのが特徴です。

ポンド円やオージー円やユーロ円などのアメリカドル以外の通貨と日本円のペアは、レートを出すためにアメリカドルをクロスしなければならないため、**クロス円**と呼ばれています。これらのクロス円は、それぞれのストレート通貨のレートが重なっているのです。

たとえばオージー円を取引するとき、ドルと円の取引（ドル円）とオージーとドルの取引（オージードル）の両方を見なければなりません。そのかけあわせがオージー円だからです。オージー円はストレート通貨のそれぞれの動向で以下のように動きが変わります。

大雑把に以下の4パターンが考えられます。

- 1 ドル円上昇 オージードル上昇 この場合は、オージー円は上昇トレンドになる
- 2 ドル円上昇 オージードル下降 この場合は、オージー円はレンジ気味で停滞
- 3 ドル円下降 オージードル上昇 この場合は、オージー円はレンジ気味で停滞
- 4 ドル円下降、オージードル下降 この場合は、オージー円は下降トレンドになる

ドル円とオージードルの関係で、だいたいオージー円の動向はこのようになります。なので、簡単に言えば、クロス円は複雑ということです。やるのならレンジのときは手をださずに、トレンドになったときにやるといいでしょう。

また、クロス円というのは、ボラティリティ（値幅の変動）が大きいのが特徴です。大きくもうけられると思いがちですが、大きく負けることもできる通貨です。なので、最初はドル円やユーロドルを中心に取引したほうがいいでしょう。

つげくわえると、業者によっては、クロス円しか扱っていないところもあるので、なるべくストレート通貨も見れるような業者でやることも検討してみてください。少なくともユーロドル、ポンドドル、オージードルなどのドルストレートは見ておきたいです。

■デイトレードでは、スワップを無視することが大事

FXをやる動機にスワップ（利息）収入目当ての方も大勢いると思います。しかし、スワップ目当てでトレードをするなら、潤沢な資金があり、レバレッジ2倍程度でのんびり取引ができる状態でなければなりません。それほど資金がないのにスワップを目当てにしようというのは本末転倒で、必ず大損することになります。

なぜなら、スワップ目当てでトレードをしてしまうと、差益を狙うトレードで絶対に必要な利益確定も損切もできなくなってしまうからです。利が伸びたら「これでスワップで半分安泰に利益が得られる」とか、損が膨れたら「もどってくるまでにスワップで稼げれば問題ない」などの安易な思考に陥ってしまうことになります。

スワップは完全に無視したほうが余計なバイアスがつかからないでいいと思います。それにデイトレならポジションを長く持ったとしても翌日までなので、スワップを考慮することなど無意味です。たった数千円の利益のために自分のトレードを曲げてしまう、それが一番の害となり、トレードの上達を阻めるものです。くれぐれも注意してください。

■指標は大きなものだけに注目しておけばいい

FXをはじめると迷うのが指標の存在です。指標時はその結果で乱高下するので注意はしなければなりません。ただ、指標といっても影響の大きいものから小さいものまでやまほどもあります。すべてを気にするのはよくないです。

はじめたばかりであれば、雇用統計とFOMCだけに注目すればいいでしょう。あとの指標はそれほど重要ではありません。スキャルピングをやるのであれば、それぞれの指標を利用して稼げるとは思いますが、デイトレなどちょっと長いスパンでトレードをするのであれば、無視したほうがスッキリします。

また、大部分の指標の結果というのは、相場に微々たる影響しか及ぼしません。たとえばドル円が1年間下降トレンドだとします。現在がなぜ下降トレンドになっているのかというと、大勢の人たちの決断の積み重ねでそうなっているのです。濃密なコンセンサスでできた流れを、たったひとつの指標、たとえば貿易収支の結果とかで覆されるわけがありませんよね。

それらはしょせん、小さなさざ波にしかすぎないのです。やがて本流に吸収されて終わります。ただし、雇用統計とFOMCは、単独でも大きな波を作り出すものですから、注目はしなければなりません。そのときはポジションを手仕舞いしたほうが無難です。

■窓開けと窓埋めとは？

FXは毎週月曜日～金曜日までで、金曜日にポジションを決済しないと、翌月曜日まで持ち越しになります。

FX初心者の方は持ち越しはしないようにしてください。なぜなら、月曜日に突然1円値が離れた状態でスタートすることもありえるからです。そうなるとオープンした瞬間にロスカットして、多額の損害を受けることにもなります。

また、土日にサミットなどの首脳会議といった重要な案件が重なることが多いのです。そこでサプライズな政策が出たりすると、月曜日は大変動になってしまうリスクもあります。もしかしたら土日に9.11のようなテロが起こるかもしれません。ちなみに月曜日にいきなり値が飛んで、口座がマイナスになってしまったら、その分業者から請求されることになります。なので、ハイレバレッジのまま持ち越すことは極めて危険といえます。

さて、月曜日に金曜日の終値からチャートが乖離して始まった場合、往々にしてチャートはその乖離を埋めにいきます。乖離して始まることを窓開け、そして乖離を埋めにいくことを窓埋めとって、月曜日の午前中は窓を埋めにいく動きが見られます。つまり、チャートというのはスキマ（窓）ができたなら埋めにいく習性があるのです。

これを利用して稼げるか？という、私はあまりいい手段だとは思いません。なぜなら月曜日の午前中というのは、どの業者もスプレッドが広がった状態になっているからです。そうした中で、乖離を埋めにいく動きを取るとするのは微々たる利益しか上げれない場合が多いのです。正道というよりは、裏技的なトレードです。

それよりも乖離が埋められたあと、もともと窓が開いた方向にチャートが進みやすいという意識すべきです。これはトレードプランに応用できます。だから、窓埋めが完了したあと、開いた方向にエントリーをしておいていくというのがベターな判断なのです。

FX開始1ヶ月目にやることをまとめると

- ・FXの基礎知識を本を読んで蓄える
- ・デモ口座を開く
- ・トレンドラインや水平線を引きながらチャートを観察する

ということになります。この段階では、結果はまだ出せるわけがないのですから、焦らずにチャートを見て経験を蓄えることから始めてください。

FX開始 2ヶ月目にやること

「トレードプランを作り、手法とリスク管理方法を確立する」

■トレードの基準となる足を決める

チャートは複数観察するのがよいと書きましたが、トレードをするに当たっては自分がメインで使う足を選ばなければなりません。 数時間以内に決済したいのであれば5分足、1日以内に決済したいのであれば1時間足、2日以内に決済したいのであれば4時間足と、自分のライフスタイルに合わせて足を調整すべきです。

どの足が有利だとか不利だとかはありません。どれを選んでもいいのです。

まずは1時間足を選択してゆっくりとトレードするのがいいでしょう。ただし、自分が選んだ足でトレードを確定することが大事です。5分足でエントリーしたのに、1日や2日ポジションを持ち続けることは、それ自体ですでおかしいことです。5分足の中でトレードを決済しなければなりません。

感覚的には開いているチャートの画面の範囲でトレードをするということです。エントリー地点がスクロールしなければ確認できないという状態は、デイトレードではすでにポジションを長く持ちすぎているともいえるでしょう。あくまで目安ですが、そのように自分で基準となる足を選び、その範囲でトレードを完結するようにしてください。

■トレンド相場とレンジ相場を見抜く目を鍛える

さて、1ヶ月間、チャートを見ながらデモトレードで適当に売買していれば、取引のやり方全般については理解して頂けたと思います。

そのほかにチャートをずっと観察していて気づいたことはありませんか？

一方向に進むような状態が長く続いたり、行ったりきたりする状態が長く続いたりする様子を観察できたと思います。

それがトレンド相場とレンジ相場です。

トレンド相場とは、トレンドラインに支持されてどンドン一方向に進んでいく相場です。

レンジ相場とは、水平線などにはさまれて、いったりきたりしている相場です。

トレンド相場とレンジ相場を見抜けるようになるのが、
勝てるトレーダーに絶対に必要な条件です。

これは一朝一夕では判断力は身につけません。上記で書いたトレンドラインと水平線を使って、相場を長い時間見続けることにより相場観が身につく、感覚的に判断できるようになってきます。ただ、そうなるまでは補助輪としてテクニカルによる判断をしてもいいでしょう。

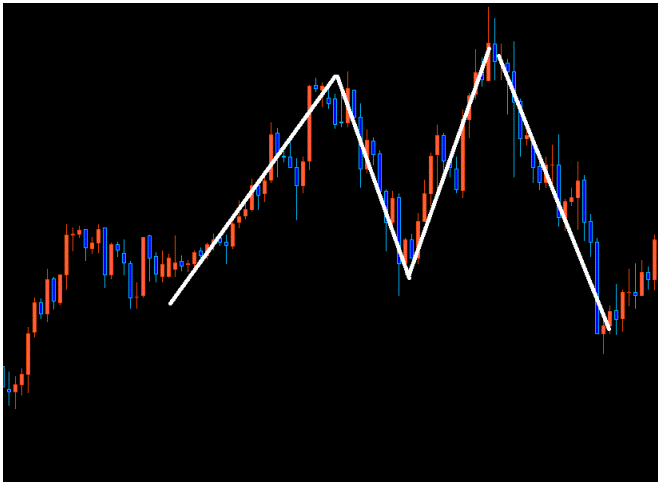


テクニカルでの判断例

移動平均線 30 本による判断例。水平もしくは波打ちながら横方向に進んでいたらレンジ、一方向に進んでいたらトレンドと判断をしてトレードをする。このほかにボリンジャーバンドなどを使って、バンドの形などを見て判断する方法もある。水平ならレンジ、傾いて進んでいたらトレンドなど。

■ダブルトップとダブルボトムのパターンなどを知る

チャートを見続けると、有効な進行パターンというものがあるということに気づきます。その代表的なものがダブルトップとダブルボトムです。



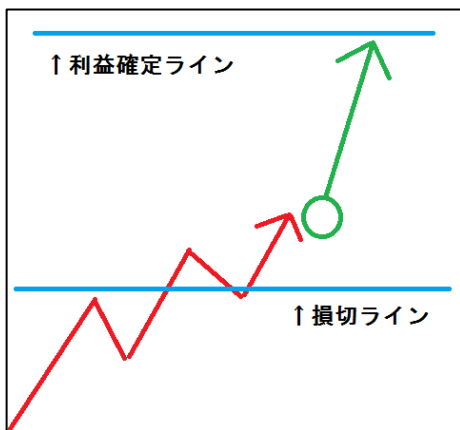
チャートの天井付近で描かれるダブルトップ。2つのピークが描かれるその過程は、すべての足で頻繁に見ることができる。また、このパターンを逆にしたのがダブルボトム。これらのパターンはトレンドラインにそって進んだチャートが、水平支持線線に当たり、トレンドラインを割れてしまったときに描かれる。

ダブルトップとダブルボトムのパターンは非常に重要なものです。描かれる根拠がしっかりとしており、またトレードプランを立案するときにも非常に使えるパターンだからです。

トレードに使えるフォーメーションはいろいろありますが、ダブルトップとダブルボトムの判断ができるようになれば、相場観がかなり身についてくるし、後述するトレードプランを作るときにも使えるはずです。

■トレードプランを立てて、そのとおりにトレードをしてみる

さて、ある程度相場を見ることで、チャートの動きのパターンというものがわかってきます。「こう動いたら、次はこう動く」という積み重ねでチャートは形作られます。長い時間チャートを見ることでそれがわかってきたら、次にトレードの作戦となるプランを立ててみてください。



・トレードプラン例

赤の線がいままでチャートが進んできた軌跡。現状の緑のマルからロングをしかけて、上にある水平線（レジスタンスライン）まで取ろうと考える。この場合、利益確定は上の水平線に合わせ、損切は、赤の線を支えるトレンドライン下においておけばよい。これがトレンドラインを使ったトレードプランの基本。その他にもレンジに使える定石のプランなどがある。

もちろん、トレードプランどおりに動かないこともあります。そのときは、そうならなかった場合のサブプランも用意しておくのです。

トレードプランの立案方法を磨くことによって、初めて計画的なトレードができるようになります。トレードを行うときは、短期トレード・長期トレード限らず、こういった作戦を事前に用意しておく必要があります。

トレードプランがすぐに浮かばないという場合、それはつまりトレードの基礎となるチャートの観察経験が足りていないからです。もっとチャートを見る期間を増やすことを検討してみてください。

■トレードプランがあれば、IFO と OCO を活用できる

トレードプランを立てることによって、IFO と OCO 注文を使ってトレードを自動化することができます。

成行でエントリーした場合は、OCO 決済を使って利益確定と損切を設定するのが基本です。

現状がチャンスでなく、成行でエントリーしない場合は、優位な地点に注文を出します。

そのときに使うのが OCO 新規と、IFO 注文です。

OCO 新規はレンジ相場でのエントリーに威力を発揮します。たとえばドル円が 80 円～81 円の幅でレンジを繰り返しているなら、80 円でロング、81 円でショートのエントリー注文を出しておけばよいですね。

IFO は、トレンド相場などでの押し目を狙うときに使えます。注文が確定するのと同時に OCO 決済で損切と利益確定が設定できます。チャートを見ていなくても、優位性のあるところからエントリーができ、しかも損失を限定できる優れた注文方法です。

成行、OCO、IFO

この3つの注文方法を活用することが、トレード上達の近道です。

■リスクリワード比率を決める

さて、トレードプランを立てたときに、あなたはこう考えることになります。

「ここでエントリーした場合、どのくらいで利益確定をしたらいいのだろうか？」

「または、どのくらいの損まで許容できるのだろうか？」

つまりこれが、リスクリワード（損と利益）の比率であり、トレードにおいて大切な柱となる考えになります。

まずは、利益確定と損切を1対1で行うのが基本です。たとえば、利益確定10pips、損切10pipsとします。これで1対1ですよ。この状態で50%以上の勝率を上げることができれば、FXで勝てることになります。

そのほかにもリスクリワード比率の取り方にはいろいろあります。相場状況に併せて損小利大にしたり、損大利小にしたりしても勝つことは可能です。

つまり、トレードで勝つということは、リスクリワード比率を決めて、損切と利益確定を何千何百回も繰り返して「確率」を使って勝つということなのです。

■リスクリワード比率に応じたテクニカルを選定する

リスクリワード比率の取り方には種類があると書きました。

それが、損大利小、損小利小、損小利大の3パターンです。

基本的にトレンド相場では、損小利大のリスクリワードを選び、レンジ相場では、損小利小・損大利小のリスクリワードを選ぶべきです。

そして、トレンド相場で使うテクニカルと、レンジ相場で使うテクニカルは分別する必要があります。

トレンド相場に使えるテクニカル

・移動平均線

レンジ相場に使えるテクニカル

- ・ R S I
- ・ ストキャスト

両方の相場に使えるテクニカル

- ・ M A C D
- ・ ボリンジャーバンド
- ・ 一目均衡表

などがあります。

つまり、

トレンド相場では、トレンド用のテクニカルを選び、損小利大のリスクワード比率でトレードをする。

レンジ相場では、レンジ相場用のテクニカルを選び、損小利小・もしくは損大利小のリスクワード比率でトレードをする。

ということです。この組み合わせによって、FXを攻略していきます。

これらすべてをちゃんと考えないと、あなたの手法、あなたのルールというのは確立できないのです。合理的にすべてキチンと考えた人だけがトレードで成果を上げることができるのです。

■テクニカルは相場観を育ててくれる

裁量トレード（自分の考えで手動で行うトレード方法）において、テクニカルというのは絶対に必要なものではないのですが、チャートがどのように動くのか？というチャート観察眼を鍛えたり、自分のルールを構築する助けになってくれるものです。

間違ってもテクニカルの数値の組み合わせが必勝法になると思い違いをしないでください。上記で書いたことがテクニカルを使う大きな意味です。つまり、あなたの相場観察経験の蓄積スピードをアップしてくれるものがテクニカルです。相場観がない状態で使う自転車の補助輪のようなものです。

そうした意味合いでテクニカルを使う場合は、以下を選ぶといいでしょう。

移動平均線 10 と 30 の 2 つ

ボリンジャーバンド $\pm 2\sigma$

RSI 14 日

いずれもトレンド相場、レンジ相場に対応できるテクニカルです。これを表示してみると、チャートの把握力というのは身につくし、自分でどれを使って取引をしていけばいいかを知ることができます。

あと玄人向けですが、一目均衡表もお勧めです。一目均衡表はすべてが詰め込まれたテクニカルなので、これが見れるようになれば他のテクニカルはいりません。もし、一目均衡表について知りたいのであれば、「投資の王道」新井 邦宏著をお勧めします。初心者向けであり一目均衡表についてよくわかります。

それと、一番大切なテクニカルを忘れていました。

それはロウソクです。ロウソク足の始値や終値やヒゲなどは実に多くのことを教えてくれます。相場観が身についた裁量トレーダーなら、ロウソク足だけで勝てるはずですよ。

システムトレードではなく、裁量トレードをやるのであれば、テクニカルは過信せず、自分の相場観を磨くためのツールのひとつぐらいに考えておくのがいいでしょう。

FX 2ヶ月目でやるべきことをまとめると

- ・トレンド相場とレンジ相場を見分けられるような観察眼を身に着ける
- ・トレードプランを描いてみる
- ・リスクリワード比率を決めてみる
- ・自分にあったテクニカルを選んでトレードを試みる

といったことです。1ヶ月目とは違ってかなり実践的になりました。まだピンとこないでしょうが、とりあえずやり続けていると「ああ、こういうことなんだな」というのが理解できるし、「じゃあ、自分はこのようにしてみよう」と応用することもできます。そのように自分の頭で考えられるようになったら、デイトレーダーのレベルは飛躍的に向上したといえるでしょう。2ヶ月目で勝てるコツをつかむことができれば、あとは短期間で上達していくと思います。

FX開始 3ヶ月目にやること

「自分のトレードスタイルを身につける」

■トレードの成績を記録して反省をする

さて、自分の手法が決まったら、デモでひたすらテストをしてみてください。ルールどおりにエントリーをして、利益確定と損切をしっかりとしていきます。枚数は10枚などで固定でやったほうがいいでしょう。

それ続けて、勝敗表を作ってください。

- ・トレードの勝敗（勝率）
- ・勝ちトレード数
- ・負けトレード数
- ・勝利 pips 合計
- ・敗北 pips 合計
- ・総獲得 pips
- ・勝利時の平均利益率（勝利 pips 合計÷勝利数）
- ・敗北時の平均損失率（敗北 pips 合計÷敗北数）
- ・平均利益率（総獲得 pips ÷ 全トレード数）

などをデータに残してください。これはいわば家計簿のようなもので、トレードの問題を反省するための材料となるものです。

これを作ることによって、勝ちトレードのときは平均してどのくらい稼げているのか？ 負けトレードのときは平均してどのくらい負けているのか？ それらを合計した成績はどうなっているか？ などから自分のトレードの傾向がわかります。

その傾向が事前に決めたトレードのスタイル（損小利大など）に合致しているかどうかをチェックして、反省をしていきます。こうした反省を続けながら、月間成績がプラスになるまでやりこんでください。自分が考えた手法とルールを迷いなく実践できるようにするまでやりこむのです。

■ボラティリティが一番大事だということを知る

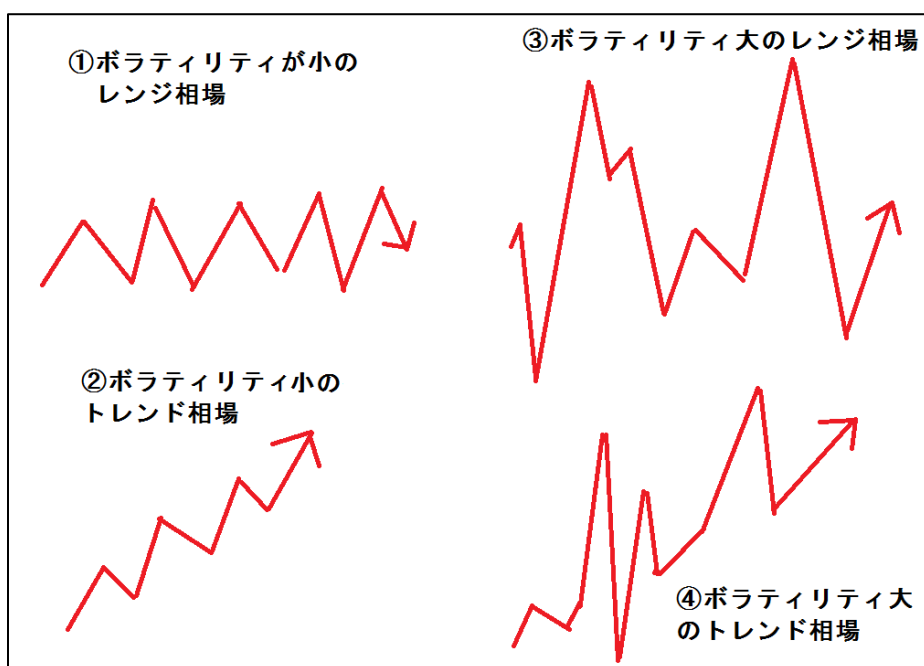
トレードで大事なものはなんだと思いますか？

「チャートが進んでいく方向を予測することでは？」

たしかにそれもあります。相場の流れをつかみ、相場の行く末を予想してエントリーをしていくことは大事です。それがトレードプランということなのですが、もうひとつ、意識をしなければいけないものがあります。

それがボラティリティです。ボラティリティというのは、変動の大きさのことです。

たとえば、一方方向に進むトレンド相場でも、ボラティリティが小さい場合は、トレンドラインにそってゆっくりと牛歩のように進んでいきます。しかし、ボラティリティが大きくなると、予想以上に乱高下をしながら進むものなのです。



この図のようにだいたい相場はレンジとトレンドの状態があり、その中でもボラティリティ小と大があります。トレードプランどおりに進むのはもちろん①と②のケース。この状態は簡単な相場です。しかし、ボラティリティが大きくなってしまふ③と④のケースでは、想定した以上の値動きを見せるので、とたんに予測が難しくなります。

ボラティリティが大きい状態は、大もうけができると思いますが、逆に大損する機会が増えます。ボラティリティが大きくなったら、レバレッジを落としてゆったりとトレードするか、損切を厳守して対応しなければなりません。

間違っても、ボラティリティの大きな相場で、ハイレバをしたり、損切をしなかったり、放置したりしないようにすることです。それは、必ずロスカットへと追い込まれます。

このようにポジションをずっと放置していると、いつの間にかボラティリティが変動してしまい、大変な目にあってしまうのです。①や②の状態が続いていて安心してポジションを持ったままにしていると、突然③や④の状態になりロスカットに追い込まれます。

たとえるなら波の少ない海に航海に出た感じです。波があまりにも少ないので小船でも問題ないとおもっていたら、突然大波が押し寄せるような状態になって、沈没します。これと同様なことが毎日相場で起こっているのです。

ボラティリティを意識し、それに対応していくことが、トレード上達において大切なことです。

FX開始3ヶ月目にやることは、

- ・ 自分のトレードスタイルを固める
- ・ 成績を取り反省を繰り返す
- ・ 月間の成績をプラスにもってくる

ということになります。この段階が一番難しいのですが、月間プラスの成績を残せるまで、がんばりましょう。プラスにならないようなら相場を見ている経験が少ないのです。ひたすらチャートを見てその経験が蓄えるまで我慢してください。焦って実践に入るよりも、こうした基礎をしっかりとやることが、あとになって近道となるのです。

一ヶ月間毎日トレードをして、成績がプラスで終われたら、トレーダーの入門試験が合格と考えてみてください。その条件をこなすことがトレーダーとしての第一歩です。

FX開始 4ヶ月目以降にやること

「月間の成績がプラスになったらリアルトレードを行う」

■リアル口座を開く前に税金について考える

必ず月間の成績をプラスにできるまでデモなどで練習してください。なぜならそれができないのであれば、当然実戦でもうけられるわけがないからです。

さて、口座を開設するときに悩むのは業者です。

実はいままでは最初に口座を開設するなら、断然損益を3年前にさかのぼって通算できる「くりっく365」にすべきでした。

くりっく365なら、さらにどんなに儲けても一律20%でしたが、相対取引業者は2011年までこのような税金がかかっていたのです。

2011年までのFXの税金

課税所得金額	所得税	住民税
1万円～195万円	5%	一律10%
195万円～330万円	10%	
330万円～695万円	20%	
695万円～900万円	23%	
900万円～1800万円	33%	
1800万円以上	40%	

たとえば、相対で1年目に2000万円負けたとします。そして2年目に2000万勝ったとします。しかし、最初の-2000万に対しては税金の優遇は何もありません。お金をドブに捨てたのと同じことです。しかも2年目に2000万勝ったときは所得税と住民税合わせて50%の税金を取られます。通算して損益0のはずなのに、税金で-1000万もの赤字となります。

だいたい初めてFXをやる人が1年目から勝てるはずがないのです。だから、この課税方式は、FXトレーダーにとって、とんでもなく不利なものでした。

ところが、とてもありがたいことに2012年度分から税方式が見直され、
相対取引業者でも、くりっく365と同等の課税方式になったのです！！

つまり、どんなに儲けても20%の税金しかかかりません。
しかも、年間で負けてしまっても、損益通算が3年間行えるので、
1年目に負けた分を2年目に取り戻したときは、まったく税金がかからないのです！

2012年からはFXのトレード環境が飛躍的によくなったといえるでしょう！！

だから、いまFXをはじめるなら、最高のタイミングであると思います。

なお、相対であれば、マネーパートナーズをお勧めしています。ツールが使いやすく、約定拒否などありません。信頼もあり、使いやすい業者だと思います。

<http://track.affiliate-b.com/visit.php?guid=ON&a=m166k-29057z&p=R69386W>

■FXで一人前になるまでには、最低3年はかかることを覚悟する

FXの税方式が優遇されたことは、これからやる人にとってとても有利であるといいました。負けても損益が3年間通算できるところが最大のメリットなのです。

「え？ 勝ったときに取られる税金が20%で済むことがメリットじゃないの？」と、思われるかもしれません。

少し厳しいことを書きますが、**1年目からいきなり勝てるはずはなく、たぶんあなたは最初の1年目は酷く負けるからです。**それも、考えた以上に負けてしまうでしょう。

FXで勝てる方法を知っても、それを頭でなく体で理解するほど経験を積み、実践するようになるまでは、手取り足取り教えてくれる良い師匠がいて最短で1年、勝ち方がわかっている状態で心理面の克服に3年、勝ち方もわからない自己流では10年くらいかかると思っています。

誰もが最初は簡単に勝てると思って、最初の3ヶ月ぐらいで信じられない大損をして「なんて恐ろしいのだろう」と後悔して二度とFXをやらなくなります。それが普通の方々です。ですからとても新陳代謝の早い世界なのです。どんどん新しい人がやってきて、負けた人はどんどん出て行きます。

そうした厳しい世界では、まず十分な準備から入らなければなりませんし、極力リスクを減らしてしっかり練習をしてから挑まなければなりません。

ですので、損益が3年間で通算できるとは、非常にありがたい制度なのです。

こういってしまうと「FXで勝つのはそんなに大変なのか・・・」と思ってしまう方もいるかもしれません。

でも、3年間がんばるということはそんなに大変なことでしょうか？

今日、年収1000万以上を会社員で稼ぐとしたら、まず上場会社か一流の公務員にならなければ不可能です。そのためには小学校から受験戦争に勝ち、少なくとも六大学以上のところを出て、数十倍の就職競争に勝って会社に就職しなければなりません。社員になってからも最初の10年は修行の連続。やっと30代を超えてから1000万を稼げるようになる・・・それが世間でいうところのエリートたちの実像です。まさに血と汗の努力の結果です。

それを思えば、デイトレードで3年間がんばってみるということは、はっきりいつてたいしたことではありません。20代以降の3年間というのは、あっという間です。たったそれだけの経験で年収1000万レベルは稼げるようになるのですから、こんなに短時間の勉強で結果が出せるという業界も少ないのではないのでしょうか？

年収1億などになると才能がいると思いますが、年収1000万程度であれば、それほど難しいことではありません。経験さえあれば十分実現できることです。

FXをこれからはじめる人が、最短で稼げるようになるには

まず半年間はしっかりと準備し、1年目はリアル口座でプラマイゼロくらいの成績を上げること、

チャート観察経験が蓄積して、より有効なトレードプランを描ける2年目からは、少しずつ利益を積み重ねていくコツを会得すること、

そして、3年目は2年目で築いた資産を飛躍的に増やしていくようにする。

といったステップアップでFXにチャレンジするべきです。

私自身の経験から、最短で勝てるようになるには、少なくとも1年はかかると思います。しかし、その1年で相場観と勝つコツさえ身につけば、あとは楽になると考えています。

「急がば回れ」の精神こそが、FX上達の奥義です。

準備を十分することが近道なのです。何事もそうだと思いますが、FXの場合は、お金儲けの欲望がからむので、大勢の人はこれできません。私もできなかった一人でもありません。ですから、これを読んでこれからFXをはじめようとされる方は後悔がないように、十分準備してからトレードをなさってください。

とりあえずデモトレードをすることを趣味として、それで好成績があげられるようになったら実際にやってみる・・・という考えがベストだと思います。ゴルフをやるにしても、アマチュアは賞金なしでやるから、プロに比べてのびのびできるわけです。

アマチュアでいい成績を残せるようになってから、プロに転向する。それはどの世界でも同じことではないのでしょうか？

■FXの上達においてもっとも重要なことは？

勝つためにやることは、とてもシンプルです。

- ・ トレードプランを立てる
- ・ リスクリワード比率を決める
- ・ 損切と利益確定をキチンと実行する

たったこれだけがすべてです。しかし、意識をしないとできないことです。自分でそれがわかっているにもかかわらず、実戦ではトレードプランを考えずに、リスクは伸ばして、利益は伸ばさない状況に陥ります。

どうやれば、勝てるかわかっていても、催眠術にかかったようにそうになってしまうのです。

なぜなら人間というのは感情で動く生き物だからです。いくら理性的に振舞おうとしても、食べ物を食べる時だって、空腹のときにご馳走があったら我慢できません。理性は本能の前にはなりを潜めてしまうのです。

トレードで勝てるようになるのは、トレードからお金儲けを切り離れたときです。トレードの技術を純粋に高めたいという精神状態になったときに勝てるようになるのです。

最後にメンタルが重要になるというのは誰もがいますが、いかにお金儲けを考えずにFXができるか？ FXがどれだけ好きになれるか？というのが重要なことです。

これは、どんな習い事でもそうですよね。

たとえば将棋を習うとして、一朝一夕でうまくなるはずがありません。将棋を何百回何千回とやる中で、定石を知り、いろいろな戦法を覚えていく中で上達していきます。そして、そうした経験が蓄積すると、将棋の試合展開というのがすぐわかるようになります。

「こう打ったら相手はこう打ってきて、こういう形になるだろう」という勘が誰でも働くようになります。それが将棋という大局観です。

将棋に限らず、すべてのスポーツや習い事でもそうではありませんか？ あなたもひとつは何かのスキルを身につけているはずです。仕事や家事でもそうです。経験の回数が多くなると、そこには「勘」が宿ります。

トレードで上達することも、まったく同じことなのです。ただし、トレードはお金儲けが目的になっています。「お金がかかっている」という前提が、上達までの純粋なプロセスを破壊する原因となっているのです。

ですからお金儲けをいかに排除できるか？それが上達において一番重要な精神状態であるということです。

■大負けしたときの対処法

大きく資金を減らしてしまった場合の対処法について書いておきます。大損をするというのは、経験が浅い状態では避けられません（なのでその大損をデモで体験するのがベストだというのは書いたとおりです）。

実際に大損した場合は、追加入金をして一気に取り戻そうなんて考えないでください。

それは博打に負けたとき、借金をして一発大勝負をして一気に取り戻そうという考えと同じだからです。それで成功したという話なんて、聞いたことがありません。

負けたときは、残った額で徐々に資金を増やすことを考えてください。たとえばいままで証拠金 100 万入れて 10 枚のトレードをしていたのだけれども、それがめちゃくちゃなトレードをやって、証拠金 10 万になってしまったら、地道に 1 枚のトレードで、100 万まで増やすということをやすべきです。

ここでもう一度 90 万を入れて、失った額を短期で取り戻そうというのは大怪我のもとです。またそのお金は間違いなく取られることになるでしょう。結果として証拠金 10 万からコツコツやりなおしたほうが、はるかにコストを削減できるはずですよ。取り戻そうとした人は、永遠にそれを繰り返して 1000 万ぐらい簡単にやられてしまうことですよ。

スポーツでも大差がついたときは、一気に逆転しようと考えないことが重要です。ジワジワとゆっくりとその差を追い詰めていくというのが王道なのです。野球も 1 回に 5 点取られたら 2 回でそれを全部取り返そうと思わずに、まずは 1 点から、そして残り 9 回でいかに返していくかを考えるべきですよ。そういった考えで損失を回復させるのが大事です。

ここまで話を聞いて、

「ということは、口座に大金なんて入れる必要はないのかな？」と思ったかもしれません。

そうです。そのとおりです。FXは最初に大金を入れる必要はないのです。リアル口座で始めるときも小額からやるべきです。たとえば、10万円を入れて、1枚固定でドル円を取引して徐々にプラスにしていくというのはとても堅い方法です。

なぜなら、大負けしても数万です。なくなったとしてもそれまでに実戦の経験値を積み重ねられたのだから、安い授業料です。徐々に増やせたならほとんど元がないようなものですから、まさに大もうけです。

10万が1万円に減ると100万が10万に減ると、1000万が100万に減るのは、同じトレードをしていれば、それにかかる時間は同じです。簡単に負けられるのです。

ですから、最初は小額から始めることが最短で大もうけをするための近道なのです。

■検証するために使えるソフト

最後にトレード検証用のソフトをひとつご紹介しておきます。

自分の手法が有効かどうか？ またあらゆる局面で冷静にトレードできるかどうか？ それを訓練するソフトで、フォレックステスターというのがあります。最近トレードを始めた人の多くが使っているソフトです。私がトレードを始めたころはこういうソフトがなかったので、いまの人は恵まれていると思います。

このフォレックステスターは1万3000円程度で売られている教材なのですが、有名なメタトレーダーの開発者が作ったものです。過去チャートを短時間に表示してトレードのシミュレーションを積み重ねることができます。

メリットはトレード時間の短縮です。次々にチャートを表示できるので、トレード経験を積み重ねるには格好の練習材料となるでしょう。相場観が身につくのも早くなると思います。販売しているところはいくつかありますが、フォレックステスターで検索すれば出てきます。

フォレックステスター公式サイト

<http://www.forextester.jp/index.html>

(詳しくはご自分で調べていただければと思います)。

手法などの成功率をこのソフトで調べるのももちろん有効ですが、ひとつ注意してほしいことがあります。

テクニカルを絶対条件でトレードをするのであれば、それはシステムトレードや自動売買と同じことです。そうしたトレードをしたければ、裁量トレードはやる必要がないので、機械に任せたシステムトレードを目指すのがいいでしょう。

裁量トレードとは、トレンド相場やレンジ相場やボラティリティの量を経験からの勘で見抜き、その相場観を基にしてトレードプランを立ててエントリーをしていくというトレード方法です。手法というのは、これらの土台の上にあるものです。手法よりこの土台こそが重要だということは、言うまでもありません。

あなたがこれで知るべきは、単にテクニカルの組み合わせでその手法がどのくらいの成功率があるか？ それは大事な要素ではありますが、そこにあまりとらわれてしまうのはよくありません。なぜなら、その手法を使うまでに、あなた自身がトレンド相場やレンジ相場だということが判定できないと、手法の成功率は変わってしまうからです。

一番大切なのは、より多くのチャートを見て、トレードプランを考えながらトレードをすることです。つまり、相場観を身に着けることが目的です。それがわかっていれば、短時間で相場観を身に着けるのにとっても役立つソフトであると思います。

F X 4ヶ月目以降でやることをまとめると

- ・小額から実戦で少しずつ資金を増やす方法を知る**
- ・スランプに陥ったらテスターなどの検証ソフトで練習してみる**
- ・トレードから、お金儲けを切り離す精神状態を身につける**

ということです。トレードの上達は日々の努力の積み重ねです。楽にもうけられるという思い込みを捨てた人がスタート地点に立つことができ、あきらめずにやった人が、最終的に夢を実現できる・・・ということなのです。

ーエピローグー

大勢の人間が間違った「FX道」を歩みます。その結果、試合開始そうそうに資金をすべて吹き飛ばし再起不能に陥ってしまいます。

最初の大損であきらめなかった人たちも、その後も正しいトレードへの取り組み方法がわからないまま、失ったお金を取り戻そうとして、損をどんどん重ねてしまいます。

FXで勝つためには、正しい取り組み方を最初に知る必要があります。それが莫大な授業料と授業時間の短縮につながります。そして、その正しい取り組み方というのは、世間の常識とはかけ離れたものになっています。

普通に経済動向を分析したり、ニュースを手がかりにしてトレードをしてしまいがちなのですが、それでは勝つことはままならないでしょう。本書をきっかけとして、正しい勝ち方を最短距離で身に付けてもらえたら幸いです。

最後に、本書に書いたことを実際に再現した教材をご用意しています。

■FX デイトレード知識ゼロからの最短上達方法実践編 <http://homing-fx.com/daytra>

こちらは、本書で書いたことを実際に実践していくにはどうすればいいか？

実際にデモ口座を開いて、利益を積み重ねていく様子を約4時間の動画で解説しています。

また、具体的な手法とリスク管理の方法も学べる一冊です。

これだけでも練習すれば勝てるようになるはずです。

そのほかブログとメルマガも日々更新・発行中ですので、こちらもぜひご参考にしてください。ブログでは毎日ドル円のトレードプランを、そしてメルマガではFXで勝つために必要なメンタル系のノウハウをまとめています。

■FX意識改革ブログ <http://blog.homing-fx.com>

■メルマガ「たった1分でできるFX勝ち組への意識改革」

<http://www.mag2.com/m/0000280418.html>

著者 千草明